

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書
(平成30年度)

園名 (三木市立自由が丘幼稚園)

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○園の教育目標である「遊びながら学び育ちあう子ども達の育成」に向け、年少・年長それぞれの発達の特徴をふまえた丁寧な保育を実践している。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○子どもたち一人ひとりのエピソードを大切にし、それを子ども理解に生かし共通理解を図っている。また、多様な行事での経験を通して、子どもたちの社会性の育成に努力している。
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○自然な環境に加え、意図的な環境設定にも注意を向け、子どもたちの心の育ちへのきめ細かな配慮が感じられる。
IV	小学校との連携	○保幼小連絡会へ参加している。自由が丘小学校とは、プール遊び、運動会での5年生との合同競技、音楽会、1年生との昔遊び交流等で交流を深めている。小学校栄養士が年5～6回来訪し、園児には食育について(食事マナー等)の話、保護者向け給食試食会では、学校給食についての話をして、食育の充実を図る機会を設けている。自由が丘東小学校とは、校区の子どもが運動会・音楽会に訪問する等で交流の機会を持っている。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○入園前の説明会では、写真を使用したパワーポイントで園児の様子や新教育要領(10の項目)について、教育・保育の具体例を交えて分かりやすく説明

		し、入園後もドキュメンテーションとして掲示している。行事時には園長が理念・基本方針を盛り込みながら挨拶を行っている。役員会開催時や、各種たよりの発行・配布を通して説明している。
VI	保育教諭の資質向上のための取組	○研修計画に沿って、キャリアアップ研修・人権研修等外部研修と伝達研修、園内研修等さまざまな手法により研修を実施する体制を構築している。基本的に毎日開催の打ち合わせ会他、各種会議を開催し、職員会議でケース検討や保育内容について意見交換を行っている。園長が日々の保育現場に参画し、「感覚の交流」を通じて資質向上に取り組んでいる。
VII	安全管理	○計画に沿って、地震、火災時避難訓練・不審者対応訓練を警察・消防と連携して実施している。遊具・水回り等はチェック表で安全点検を行い、修理等必要時は市と連携して対応している。事故・ケガ等の再発防止について職員会議で検討している。アレルギー疾患に対して、指示書等に基づいて適切に対応している。
VIII	地域の子育て拠点としての取組	○ふれあい遊び(月1回)・園庭開放(毎日)・公民館の子育てサークルとの交流(年3回)・育児相談・バザー・敬老会での歌ダンス披露を行っている。
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	○更生保護女性会・NPO法人「わくわくステーション」・子ども食堂・地域の敬老会・こども発達支援センターにじいる等と連携を図っている。